

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）ニホンダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ミツイズミゼミナール
日本大学	経済学部	三井泉ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）ファイン	フリガナ）コダマ ジュンイチ	6 人	無
ファイン	兒玉 純一		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

研究テーマ（発表タイトル）
料理が好きな人、している人、したい人に料理しやすい環境を提供する

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現代の社会において地方から都市へ人口流出の理由により一人暮らしをする人が増えている。そのような状況下で、都市での一人暮らし向けの物件においてキッチンのスペースが小さくなっているという現状がある。私たちはそのような時代においても料理を好きな人、している人、したい人に料理しやすい環境を提供することを目的とする。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

マイナビによる3年以内に初めて実家を離れたという18歳から29歳の男女800人に聞いたアンケートにおいて、週に一日程度自炊する人は87.4%いる。西尾恵里子・太田成俊・田中雄二らが発表した「大学生の居住形態別からみた食事状況および生活習慣状況調査」の中で、対象を大学生に限定した場合一人暮らしで夕食を自炊で済ませる人は62.8%いる。以上の結果から自炊を行う人が多く存在していることが分かる。しかし、クックパッドによれば自炊を行う人たちの中には献立が立てられないという悩みを抱えている人も多い、と調査結果が出ている。

一方、今の不動産業界に目を向けると、キッチンの機能・スペースを削る流れがある。それは駅前や都心にある集合住宅に多く発生している。不動産会社の立場に立った場合、一つの土地に対し部屋数が多いほど不動産会社の総収入が大きくなる傾向がある。部屋数を多くするためには各部屋のスペースを小さくする必要があり、一番に削られてしまう場所がキッチンである。これがキッチンの機能・スペースが削られてしまう要因である。このような要因から今の家に住んでいて後悔・失敗したと思うことはどのようなことかの調査において、キッチンが狭いことやコンロが一口であるといったことが不満の声としてあげられている。

3. 研究テーマの課題

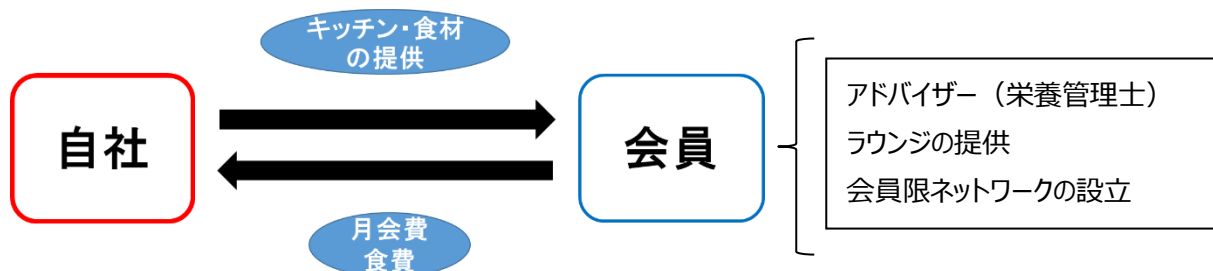
キッチンの機能・スペースが削られていく駅前や都心の集合住宅に住む人、特にその中でも自炊を行う人は調理環境が整ったキッチンを求めている。また日々の献立作りに悩む人々がそのような悩みを抱かなくてもよい工夫が必要である。私たちが上記のような問題点・潜在的顧客者に対し取り組むべき課題は「楽な食材調達」、「広いキッチン」、「豊富な調理器具」の提供であると考える。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

広いキッチン、豊富な調理器具という条件を満たす施設を私たちがつくる。その施設内では、利用者が材料選びから料理に至るまでの流れを密接にするため、キッチン内にあらかじめ食材を用意しておく。その食材で調理可能な献立の候補も数種類用意する。このようなシステムによりで自炊する人献立が決められないという大きな悩みを解決できると考える。

以下、付加価値としてのサービスは以下の3つのサービスを考える。シェアキッチンという場所を活かして、利用者同士のコミュニケーションを図る会員ネットワークを構築する。そこでは料理が苦手な人が他の利用者からのサポートを受けられるシステム、一緒に料理を作りたい人たちのためのマッチングシステムを展開する。また自炊を行う人が気を遣う点として栄養面がある。日々の栄養を管理できるようなアドバイザーを雇い、利用者の献立を管理する。

〇ビジネスモデル



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- 一般社団法人社会課題解決支援協会：渡邊 智之 様
日本の食品ロスの問題や解決策、農業の物流や今後の課題
- 有限会社東郊住宅社代表取締役社長 トーコーキッチン設立者：池田 峰 様
トーコーキッチンについての説明、日本の不動産事情、経営哲学

6. 結果や今後の取り組み

今回の研究の結果、現代の不動産事情により料理を好んでする人は今の住まいの現状に対して不満を抱えていることが判明した。私たちのシェアキッチンのモデルをそのような人たちに提供することは意義があると考えます。また私たちのプランはキッチンを外外部化するという考えのもとにあるので、これからの不動産業界の動向に適したものである。

7. 参考文献

- 一人世帯数 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001184684> (参照 2017.9.27)
- 実家を離れているときに自炊をする頻度 <https://gakumado.mynavi.jp/gmd/articles/2383>
(参照 2017.7.28)
- あなたが料理をしたきっかけは何ですか? http://research.lifemedia.jp/2014/04/140402_cooking.html
(参照 2017.7.28)
- 西尾恵里子・太田成俊・田中雄二「大学生の居住形態別からみた 食事状況および生活習慣状況調査」『九州共立大学共通教育センター』平成 26 年 2 月 3 日
- 料理についてどのような悩みを持つか <http://www.garbagenews.net/archivse/2075591.html>
(参照 2017.8.29)
- 希望する「間取り」に一番近いものをお選びください
http://www.asahi-kasei.co.jp/maison/chiebukuro/report/trend/2013/03/post_1.html
(参照 2017.9.11)
- 今の部屋に住んでみて公開・失敗したと思うのはどんなこと? <http://suumo.jp/journal/2017/01/25/124006/>
(参照 2017.9.11)
- モノを所有せずに「シェアリング」やレンタルで済ますことはエコだと思う <http://www.b-desse.jp/report/74/>
(参照 2017.8.30)
- モノを所有せずに「シェアリング」やレンタルで済ますことは賢い生活スタイルだと思う
<http://www.b-desse.jp/report/74/> (参照 2017.8.30)
- モノを所有せずに「シェアリング」やレンタルで済ますことに抵抗はない <http://www.b-desse.jp/report/74/> (参照 2017.8.30)
- 住まい「〇〇が共同」ってアリ? <http://news.mynavi.jp/series/docchi/219/> (参照 2017.8.30)
- 中尾 尚美・岡本 美紀・武藤 慶子「女子大学生の食事パターンと食生活との関連」『長崎県立大学 看護栄養学部紀要』第 14 巻 2015 年
- 平成 28 年社会生活基本調査 時間帯－全国・地域（調査票 A）/統計局ホームページ
<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/kekka.htm> (参照 2017.9.20)
- 1 人暮らしになってから、主に食事はどうしています（いました）か?
<https://s.news.mynavi.jp/news/2016/02/12/251/index.html> (参照 2017.7.30)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員（ビジネスパーソン・大学教員）の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会（プレゼン局）にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りません。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください